

令和7年度 大学院学生募集要項

札幌医科大学大学院

保健医療学研究科(博士課程後期)

【看護学専攻】

【理学療法学・作業療法学専攻】



令和6年10月

札幌医科大学

札幌医科大学大学院保健医療学研究科

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

求める学生像

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

〈博士課程前期〉

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 保健・医療・福祉の諸課題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3. 多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
4. 豊かな人間性と倫理性を有し、地域の保健・医療・福祉に貢献する意思のある人
5. 研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

〈博士課程後期〉

【知識・技能】

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探求心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 保健・医療・福祉の諸課題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3. 豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
4. 研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

入学までに学習しておくことが期待される内容

〈博士課程前期〉

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術・基礎学力
2. 豊かな人間性と批判的・論理的思考力
3. 主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

〈博士課程後期〉

1. 看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力・基礎学力・基本的研究力
2. 豊かな人間性と倫理性
3. グローバルな視点と研究成果を発信するための語学力

入学者選抜の基本方針

入学者に求める資質・能力について、下表に示す入学者選抜方法により評価・判定します。

※○及び◎は入学者選抜方法と学力の3要素との対応関係を示すものであり、配点の比重を示すものではありません。

〈博士課程前期〉

*看護学専攻（修士論文コース）/理学療法学・作業療法学専攻

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|------------------------------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 学力検査（英語） | ◎ | ○ | |
| 学力検査(小論文) (理学療法学・作業療 法学専攻のみ) | ◎ | ◎ | ○ |
| 面接 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |

*看護学専攻（専門看護師コース）

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|---------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 学力検査（英語） | ◎ | ○ | |
| 学力検査(専門科目) | ◎ | ◎ | ○ |
| 面接 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |

〈博士課程後期〉

| 入学者選抜方法 | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力等の能力 | 主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度 |
|---------------|-------|---------------------|-------------------------------|
| 筆記試験（英語） | ◎ | ○ | |
| 口頭試問 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 志望理由書 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 出願書類 研究計画書 | ◎ | ◎ | ◎ |

令和7年度札幌医科大学大学院保健医療学研究科 (博士課程後期) 大学院学生募集要項

令和7年4月本学大学院保健医療学研究科(博士課程後期)の入学生を次のとおり募集します。

なお、不測の事態による試験日程等変更及び追加情報がある場合は、大学大学院ホームページでお知らせします。

1 専攻と募集人員

今回募集する教育研究領域は、各専攻次のとおりです。

(1) 看護学専攻 (募集人員 2名)

| 看護学分野 | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 教育研究領域 | | | |
| 基礎看護科学 | 感染看護学 | 女性健康看護学 | |
| 小児健康看護学 | 成人健康看護学 | 老年健康看護学 | |
| 精神看護学 | 地域看護学 | 臨床内科学 | 臨床外科学 |

(2) 理学療法学・作業療法学専攻 (募集人員 6名)

| 理学療法学分野 | 作業療法学分野 |
|---|--|
| 教育研究領域 | |
| 神経・発達障害理学療法学 生体工学・スポーツ整形外科 スポーツ理学療法学 筋機能制御学 生体機能評価学 ※形態人類学 | 感覚統合障害学 中枢神経機能障害学 活動能力障害学 臨床精神・脳機能学 精神障害リハビリテーション学 神経・認知機能治療学 |

[※の教育研究領域については、今回は募集しません。]

2 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

(出願にあたっては、志望する教育研究領域の教員と必ず連絡をとり、希望する研究内容・研究計画を事前に照会・確認してください。) (3ページ参照)

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者又は令和7年3月31日までに修士の学位や専門職学位を授与される見込みの者(学校教育法第102条第1項)
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者(学校教育法施行規則第156条第1号)
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者(学校教育法施行規則第156条第2号)
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者(学校教育法施行規則第156条第3号)
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者(学校教育法施行規則第156条第4号)

- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 本学大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

注：出願資格 (6) (7) により出願しようとする者は、事前に出願資格の認定が必要となりますので、5 ページ「5 出願資格の認定」に定める申請をしてください。

今回募集する教育研究領域の問い合わせ先（代表電話番号 011-611-2111）

| 専攻名 分野名 | 教育研究領域 | 教員（内線番号） e-mail アドレス |
|--------------------------|---|---|
| 看護学専攻 看護学分野 | 基礎看護科学 感染看護学 女性健康看護学 小児健康看護学 成人健康看護学 老年健康看護学 精神看護学 地域看護学 臨床内科学 臨床外科学 | 堀口 雅美（28550） hori@sapmed.ac.jp 秋原 志穂（28430） akihara@sapmed.ac.jp 正岡 経子（28510） k.masaoka@sapmed.ac.jp 今野 美紀（28650） miki@sapmed.ac.jp 澄川 真珠子（28420） masuko0811@sapmed.ac.jp 長谷川 真澄（28640） m-hasegawa@sapmed.ac.jp 澤田 いずみ（28610） izumi@sapmed.ac.jp 平野 美千代（28620） hirano-m@sapmed.ac.jp 丹野 雅也（28520） tannom@sapmed.ac.jp 水口 徹（29460） tmizu@sapmed.ac.jp |
| 理学療法学・作業療法学専攻 理学療法学分野 | 神経・発達障害理学療法学 生体工学・スポーツ整形外科学 スポーツ理学療法学 筋機能制御学 生体機能評価学 | 菅原 和広（28730） kaz.sugawara@sapmed.ac.jp 渡邊 耕太（28770） wkota@sapmed.ac.jp 片寄 正樹（28440） katayose@sapmed.ac.jp 山田 崇史（28760） takashi.yamada1976@sapmed.ac.jp 谷口 圭吾（29730） ktani@sapmed.ac.jp |
| 理学療法学・作業療法学専攻 作業療法学分野 | 感覚統合障害学 中枢神経機能障害学 活動能力障害学 臨床精神・脳機能学 精神障害リハビリテーション学 神経・認知機能治療学 | 仙石 泰仁（28880） sengoku@sapmed.ac.jp 太田 久晶（28450） hisoh@sapmed.ac.jp 中村 真理子（28840） mnaka@sapmed.ac.jp 石井 貴男（28800） ishitaka@sapmed.ac.jp 池田 望（28860） ikedan@sapmed.ac.jp 齊藤 正樹（28830） msaitoh@sapmed.ac.jp |

3 出願手続

(1) 提出書類及び検定料

| 提出書類等 | 摘 要 |
|-------------------------------|--|
| ① 入 学 願 書 | 本学所定の用紙（様式1）を使用してください。 |
| ② 修了（見込）証明書 | 出身大学長又は研究科長が作成したものを提出してください。（注1） ただし、本学修了（見込）の者は提出を要しません。 |
| ③ 成 績 証 明 書 | 出身大学長又は研究科長が作成の上、厳封したものを提出してください。（注1）なお、その他今回志望する専攻に関連する大学、専門学校等を卒業している場合はそれらの大学等の成績証明書（厳封のこと）を併せて提出してください。ただし、本学修了（見込）の者は提出を要しません。 |
| ④ 学 習 ・ 研 究 志 望 書 | 本学所定の用紙（様式3～8）に準じて作成するか、又は添付の様式に直接記入し、提出してください。 a 大学院の志望理由（様式3） b 研究計画…希望する研究テーマとその内容（様式4） c 研究業績等…今までの臨床・研究業績、修士論文の概要（様式5、様式6、様式7、様式8） |
| ⑤ 受 験 票 ・ 写 真 票 | 本学所定の用紙（様式9）を使用し、写真（出願前3か月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦4cm×横3cm）を貼付してください。 |
| ⑥ 返 信 用 封 筒 | 受験票の送付に使用するので、定形封筒（長形3号）に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、320円切手を貼付してください。速達を希望する場合は、さらに300円切手を貼付してください。 |
| ⑦ 入 学 検 定 料 | 30,000円 「検定料の振込について」（様式11）に、記載されている振込方法等を熟読の上、添付されている本学所定の振込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みください。また、出願に際しては、「様式11」右側の検定料納付確認票を提出してください。 |
| ⑧ 出 願 チェックシート | 所定の用紙を使用し、出願書類を確認し、チェック欄にチェックを入れ、氏名欄に記入の上、提出してください。 |
| ⑨ 就 学 承 認 書 | 所属の代表者の承認書を提出してください。 （本学所定の用紙（様式10）に準じて作成してください。） 提出対象出願者：入学後、在職のまま就学する方 |
| ⑩ 「在留カード」または「住民票」の写し・パスポートの写し | 「在留カード」または「住民票」の写しを提出してください。国外からの出願者は、パスポートの写しを提出してください。 提出対象出願者：外国人の出願者 |

注1：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者及び学位授与機構に修士の学位授与を申請中の者は、学位授与機構の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った施設の長が作成した単位修得証明書で、厳封されたものを提出してください。

(2) 願書受付期間

令和6年11月27日（水）から12月11日（水）までに必着とします。

注1：出願書類は、郵送で受け付けます。書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科（博士課程後期）願書在中」と朱書してください。また、出願書類を受理した旨の通知を希望する者は、郵便番号・住所・あて名を記載した85円の官製はがきを同封してください。

注2：出願書類を持参することはできませんのでご注意ください。

(3) 願書郵送先

札幌医科大学事務局学務課 大学院係 [教育研究棟 1F]

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話 (011) 611-2111 (内線 23770)

4 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

本学への入学志願者で、次表に該当する場合（学校教育法施行令第22条の3に準拠）は、受験上及び修学上の配慮が必要となることがありますので、必ず本学学務課大学院係に電話等で、令和6年11月6日（水）までにお問い合わせください。

必要に応じ、本学において、入学志願者との面談を行います。

- | |
|--|
| <p>(ア) 両眼の矯正視力が0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</p> <p>(イ) 両耳の聴力レベルが60デシベル以上の者のうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度の者</p> <p>(ウ) 肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、立位もしくは座位の保持又は歩行することが不可能又は困難な者</p> <p>(エ) 肢体（上肢・体幹・下肢）不自由の状態により、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な者</p> <p>(オ) 慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等の状態が継続して医療・生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者</p> <p>(カ) 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度の者</p> <p>(キ) 上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有する者</p> |
|--|

問い合わせ先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学事務局学務課大学院係 電話 (011) 611-2111 (内線23770)

5 出願資格の認定

1 ページ「2 出願資格」に定める (6) (7) で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるので、次のとおり申請してください。

| |
|---|
| <p>(1) 申請期間</p> <p>令和6年10月21日（月）から11月6日（水）までに必着とします。</p> <p>注1：申請書類は、郵送で受付けます。書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書してください。また、申請書類を受理した旨の通知を希望する者は、郵便番号・住所・あて名を記載した85円の官製はがきを同封してください。</p> <p>注2：申請書類を持参することはできませんのでご注意ください。</p> <p>(2) 申請書類</p> <p>① 出願資格審査申請書（本学所定の用紙（様式11）を使用してください。）</p> <p>② 学習・研究志望書（4ページ「3 出願手続」(1)の④）</p> <p>(3) 出願資格審査の方法</p> <p>申請書類により行います。ただし、必要と認めた場合については、口述審査を行います。</p> <p>(4) 出願資格審査の結果通知</p> <p>審査終了後、資格審査結果を郵送により通知します。</p> |
|---|

6 外国人留学生の取扱い

（出願にあたっては、志望する教育研究領域の教員と必ず連絡をとり、希望する研究内容・研究計画を事前に照会・確認してください。（3ページ参照））

(1) 出願資格

- ① 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ② 本学大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年3月31日までに24歳に達する者

(2) 出願書類

国外からの出願者は、日本国内在住の身元保証人をとおして書類を提出すること。

なお、(1)の出願資格の②で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要になるので、5ページ「5 出願資格の認定」に定める申請をしてください。

| 提出書類等 | 摘 要 |
|-------------|--|
| ① 入学願書 | 本学所定の用紙（様式2）を使用してください。〔日本語で作成〕 |
| ② 修了（見込）証明書 | 出身大学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 |
| ③ 成績証明書 | 出身大学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 |
| ④ 学習・研究志望書 | 本学所定の用紙（様式3～8）に準じて作成するか、又は添付の様式に直接記入し、提出してください。〔日本語又は英語で作成〕 a 大学院の志望理由（様式3） b 研究計画…希望する研究テーマとその内容（様式4） c 研究業績等…今までの臨床・研究業績、修士論文の概要（様式5、様式6、様式7、様式8） |
| ⑤ 推薦書（2通） | a 自己の専門領域の所属の長が作成したもの（1通）〔日本語又は英語で作成〕を提出してください。 b 上記以外のもの（1通）〔日本語又は英語で作成〕 |
| ⑥ 経済状況等証明書 | 銀行口座の預金残高証明書又は奨学金支給決定書（金額の明記されたもの）等を提出してください。 |
| ⑦ 日本語能力証明書 | 財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験した際の成績書を提出してください。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| ⑧ 英語能力証明書 | TOEFL (iBTテスト又はITPテストのいずれか) の成績書を提出してください。 |
| ⑨ 受験票・写真票 | 本学所定の用紙(様式10)を使用し、写真(出願前3か月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦4cm×横3cm)を貼付してください。 |
| ⑩ 「在留カード」または「住民票」の写し・パスポートの写し | 「在留カード」または「住民票」の写しを提出してください。国外からの出願者は、パスポートの写しを提出してください。 |
| ⑪ 返信用封筒 | 受験票の送付に使用するので、定形封筒(長形3号)に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、320円切手を貼付してください。 速達を希望する場合は、さらに300円切手を貼付してください。 |
| ⑫ 入学検定料 | 30,000円 日本国内から出願する場合は、「検定料の振込について」(様式11)に記載されている振込方法等を熟読の上、添付されている本学所定の振込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みください。また、出願に際しては、「様式11」右側の検定料納付確認票を提出してください。 日本国外から出願する場合は、日本円建で外国送金(口座振込)の手続きにより納付してください。(口座番号は、お問い合わせください。)なお、振込手数料は、振込者の負担となります。 |

注1：②、③、⑥については、英語以外の言語で記載の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

注2：日本国内の大学院(修士課程又は博士課程前期)を修了又は修了見込みの者は、⑦、⑧の提出を免除します。

7 入学者選抜方法

学力検査、面接、調査書などの結果を総合して選考します。

- ① 筆記試験： 外国語 英語(辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可)
- ② 口頭試問： 主要論文(修士論文等)、研究業績、志望領域及び研究能力などについて個別に行います。

※ 本学研究科博士課程前期及び他大学研究科修士課程・博士課程前期において当該年度に修士号の学位を取得する見込みの者については、修士課程・博士課程前期における学業成績及び修士論文を加味して選抜します。

ただし、合格発表後、修士の学位が取得できないことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

8 試験日程及び試験場所

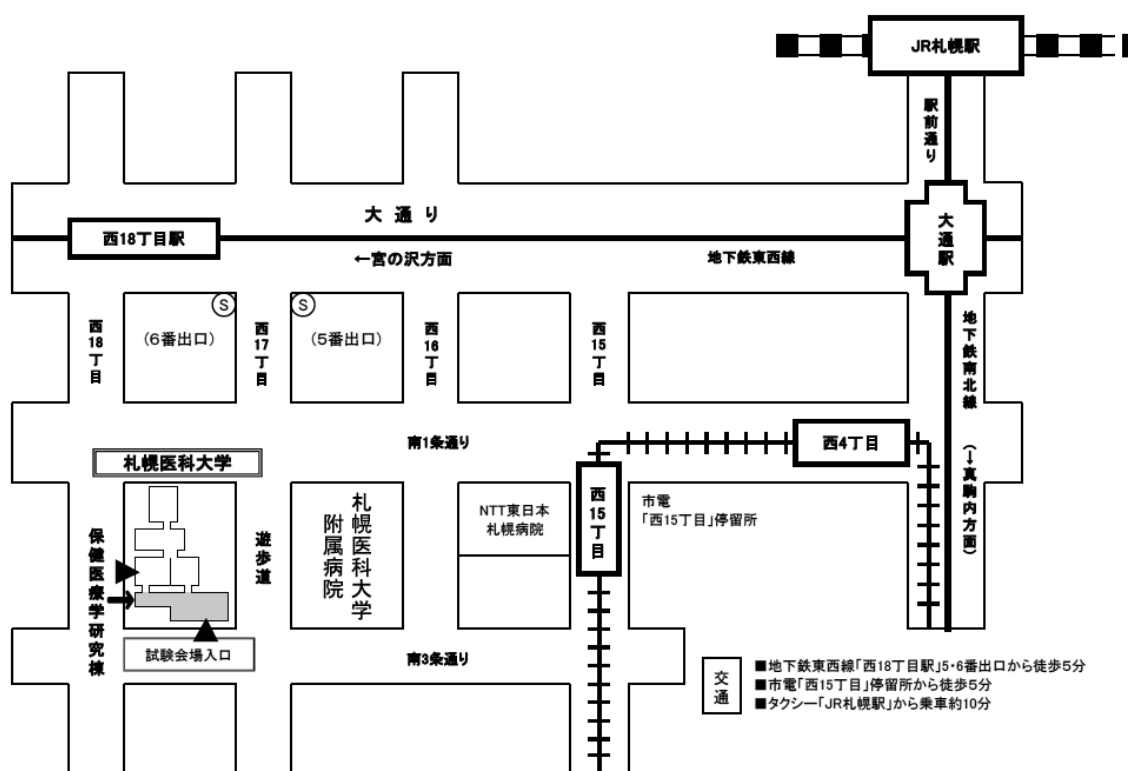
| 試験日 | 試験時間 | 試験科目等 | 試験会場 |
|--------------|------------|-------|----------------|
| 令和7年1月25日(土) | 9:30～11:30 | 筆記試験 | 札幌医科大学保健医療学研究棟 |
| | 13:00～ | 口頭試験 | 札幌市中央区南1条西17丁目 |

注1：受験者は、試験当日午前9時10分までに受付を済ませてください。

なお、受付は8時30分から開始します。

注2：試験日程等変更及び追加情報がある場合は、大学大学院ホームページでお知らせします。

注3：試験会場略図 札幌市中央区南1条西17丁目 ☎ (011) 611-2111 (内線 23770)



9 教育方法

大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する研究指導によって行います。

10 合格発表

(1) 発表日時

令和7年2月7日（金） 午前10時

(2) 発表方法

試験結果を郵送で通知します。なお、合格発表に関する問い合わせには、一切応じられません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の提供

本学のホームページ（<http://web.sapmed.ac.jp/>）に合格者受験番号を掲載します。掲載時刻は合格発表日の午前10時以降となります。

（注）インターネットによる合格者受験番号の提供は、合格の公示に代わるものではありません。

11 入学手続

(1) 入学手続期間

令和7年2月12日（水）から2月28日（金）までに行ってください。

注1： 入学書類は郵送で受付けます。書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科（博士課程後期）入学書類在中」と朱書の上、受付期間内に必着とします。

注2： 入学書類を持参することはできませんのでご注意ください。

(2) 入学手続に必要な書類等

| | |
|--|----------|
| ① 入学料 | 282,000円 |
| (本学博士課程前期に在学中で引き続き博士課程後期に進学する方は、不要です。) (※入学料については、変更することがあります。) | |
| ② 戸籍個人事項証明書（戸籍抄本） | 1通 |
| ③ 誓約書 | |
| ④ 授業料口座振替依頼書 | |

12 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年数（3年）を超えて一定の期間（6年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出たときは、審査の上、履修を認めるときがあります。

詳細は、札幌医科大学事務局学務課大学院係までお問い合わせください。

電話 (011) 611-2111（内線 23770）

13 授業料

年額535,800円（※授業料については、変更することがあります。）

年額の2分の1相当額を前期（4月）・後期（10月）の2期に分けて納付していただきます。

なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

※実習に係る宿泊費や交通費等の諸経費は、原則として自己負担となります。

14 その他

- (1) 提出書類に不備のある場合は受理できません。
- (2) 受理後の書類の内容変更は認められません。
- (3) 納付した入学検定料、入学料及び提出書類は返還しません。
- (4) 本募集要項に関して、不明な点があれば下記にお問い合わせください。

札幌医科大学事務局学務課 大学院係
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
電話 (011) 611-2111（内線 23770）

札幌医科大学大学院保健医療学研究科(博士課程後期)の概要

1 目 的

札幌医科大学大学院保健医療学研究科(博士課程後期)は、専門分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うとともに、国際的に活躍することができる人材の養成を目的とする。

また、カリキュラムは、専門科目と特別研究で構成し、選択する専門領域の特講、特講演習及び特別研究を指導教員の指導のもとに履修する。

2 学生定員

| | | |
|---------------|--------|---------|
| 看護学専攻 | 入学定員2名 | 収容定員6名 |
| 理学療法学・作業療法学専攻 | 入学定員6名 | 収容定員18名 |

3 標準修業年限 3年 (※在学期間は、6年を越えることができません。)

4 学 位

| | | |
|---------------|---------|-----------|
| 看護学専攻 | 看護学分野 | 博士(看護学) |
| 理学療法学・作業療法学専攻 | 理学療法学分野 | 博士(理学療法学) |
| | 作業療法学分野 | 博士(作業療法学) |

5 教育課程

(1) 学位授与方針(博士課程後期ディプロマ・ポリシー)

【看護学専攻】

看護学専攻では、3年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を有すると認められる者に博士の学位を授与します。

1. 専門分野における深い学識と関連領域に係る学際的知識の修得
2. 独創的な視点で研究を立案・計画し、厳格な倫理性をもって自ら遂行する能力
3. 看護学の理論の構築や技術の向上において新たな知を創造する能力
4. 研究成果を国内外に発信し、看護学の教育・研究・実践の発展に貢献できる能力

【理学療法学・作業療法学専攻】

理学療法学・作業療法学専攻では、3年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格し、次のような能力を有すると認められる者に博士の学位を授与します。

1. 専門分野における深い学識と関連領域に係る学際的知識の修得
2. 独創的な視点で研究を立案・計画し、厳格な倫理性をもって自ら遂行する能力
3. 理学療法学・作業療法学専攻の理論の構築や技術の向上において新たな知を創造する能力
4. 研究成果を国内外に発信し、理学療法学・作業療法学専攻の教育・研究・実践の発展に貢献できる能力

(2) 教育課程編成・実施方針(博士課程後期カリキュラム・ポリシー)

博士課程後期では、学位授与方針に掲げる能力を有する人材を育成するため、以下の方針で教育課程を編成・実施します。

【看護学専攻】

1. 看護学の理論の構築や技術の向上等に係わるコースワークと、指導を受けつつ自らが研究過程を展開するリサーチワークにより、研究者としての能力を高める。
2. 学内外の学術研究に触れる機会を設定することで研究の手法やデザインを学び、自立した研究者となるための能力を高める。
3. 研究課題に係わる論文公表や国内外での学会発表等により当該分野の研究者との交流を深める。

【理学療法学・作業療法学専攻】

1. 理学療法学・作業療法学の理論構築や治療技術の開発等に係わるコースワークと、指導を受けつつ自らが研究過程を展開するリサーチワークにより、研究者としての能力を高める。
2. リサーチアシスタントとして学術研究に係わる機会を設定することで、研究の手法やデザインを学び、自立した研究者となるための能力を高める。
3. 研究課題に係わる論文公表や国内外での学会発表等により当該分野の研究者との交流を深める。

(3) 教育課程表

※この表は予定であり、令和7年度については変更となることがあります。

①看護学専攻（博士課程後期）

○専門科目

| 授 業 科 目 | 単位数 |
|-------------|-----|
| 基礎看護科学特講 | 2 |
| 基礎看護科学特講演習 | 4 |
| 感染看護学特講 | 2 |
| 感染看護学特講演習 | 4 |
| 女性健康看護学特講 | 2 |
| 女性健康看護学特講演習 | 4 |
| 小児健康看護学特講 | 2 |
| 小児健康看護学特講演習 | 4 |
| 成人健康看護学特講 | 2 |
| 成人健康看護学特講演習 | 4 |
| 老年健康看護学特講 | 2 |
| 老年健康看護学特講演習 | 4 |
| 精神看護学特講 | 2 |
| 精神看護学特講演習 | 4 |
| 地域看護学特講 | 2 |
| 地域看護学特講演習 | 4 |
| 臨床内科学特講 | 2 |
| 臨床内科学特講演習 | 4 |
| 臨床外科学特講 | 2 |
| 臨床外科学特講演習 | 4 |
| 看護学特別研究 | 4 |

②理学療法学・作業療法学専攻（博士課程後期）

○専門科目

| 授 業 科 目 | 単位数 |
|--------------------|-----|
| 神経・発達障害理学療法学特講 | 2 |
| 神経・発達障害理学療法学特講演習 | 4 |
| 感覚統合障害学特講 | 2 |
| 感覚統合障害学特講演習 | 4 |
| 生体工学・スポーツ整形外科学特講 | 2 |
| 生体工学・スポーツ整形外科学特講演習 | 4 |
| 中枢神経機能障害学特講 | 2 |
| 中枢神経機能障害学特講演習 | 4 |
| スポーツ理学療法学特講 | 2 |
| スポーツ理学療法学特講演習 | 4 |
| 活動能力障害学特講 | 2 |
| 活動能力障害学特講演習 | 4 |

| | |
|--------------------|---|
| 臨床精神・脳機能学特講 | 2 |
| 臨床精神・脳機能学特講演習 | 4 |
| 精神障害リハビリテーション学特講 | 2 |
| 精神障害リハビリテーション学特講演習 | 4 |
| 神経・認知機能治療学特講 | 2 |
| 神経・認知機能治療学特講演習 | 4 |
| 筋機能制御学特講 | 2 |
| 筋機能制御学特講演習 | 4 |
| 生体機能評価学特講 | 2 |
| 生体機能評価学特講演習 | 4 |
| 形態人類学特講 | 2 |
| 形態人類学特講演習 | 4 |
| 理学療法学・作業療法学特別研究 | 4 |

(4) 履修基準

【看護学専攻】

| 区 分 | 所要単位 | 備 考 |
|----------|------------|--|
| 講義（特講） | 2 単位以上 | 基礎看護科学、感染看護学、女性健康看護学、小児健康看護学、成人健康看護学、老年健康看護学、精神看護学、地域看護学、臨床内科学、臨床外科学のいずれかから 6 単位以上 |
| 演習（特講演習） | 4 単位以上 | |
| 看護学特別研究 | 4 単位以上 | 看護学特別研究の 4 単位（必修） |
| 合 計 | 10 単位以上を履修 | |

【理学療法学・作業療法学専攻】

| 区 分 | 所要単位 | 備 考 |
|----------|------------|--|
| 講義（特講） | 2 単位以上 | 指導教員の特講 2 単位（必修）と他の教員の特講又は他の領域の特講を履修 |
| 演習（特講演習） | 4 単位以上 | 指導教員の特講演習 4 単位（必修）と他の教員の特講演習又は他の領域の特講演習を履修 |
| 特別研究 | 4 単位 | 理学療法学特別研究・作業療法学特別研究の 4 単位（必修） |
| 合 計 | 10 単位以上を履修 | |

■ 修了要件

原則として大学院に 3 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、既定の参考論文を提出し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、本学大学院保健医療学研究科において優れた研究業績を上げたと認める者については、1 年（2 年未満の在学期間をもって修士課程又は博士課程前期を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて 3 年）以上在学すれば足りるものとする。

6 教育研究領域 (博士論文の作成につながるもの)

【看護学専攻】

| 看護学分野 | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 教育研究領域 | | | |
| 基礎看護科学 | 感染看護学 | 女性健康看護学 | 小児健康看護学 |
| 成人健康看護学 | 老年健康看護学 | 精神看護学 | 地域看護学 |
| 臨床内科学 | 臨床外科学 | | |

【理学療法学・作業療法学専攻】

理学療法士・作業療法士の資格の有無にかかわらず、どの教育研究分野でも選択できます。

| 理学療法学分野 | 作業療法学分野 |
|----------------|----------------|
| 教育研究領域 | |
| 神経・発達障害理学療法学 | 感覚統合障害学 |
| 生体工学・スポーツ整形外科学 | 中枢神経機能障害学 |
| スポーツ理学療法学 | 活動能力障害学 |
| 筋機能制御学 | 臨床精神・脳機能学 |
| 生体機能評価学 | 精神障害リハビリテーション学 |
| ※形態人類学 | 神経・認知機能治療学 |

[※の教育研究領域については、今回は募集しません。]

様式 1

令和 7 年度 札幌医科大学 大学院
保健医療学研究科 (博士課程後期)
入 学 願 書

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|-----------------|---|-----|--------------------------------|--|------------------------|------------|--|
| ※受付 | 月 | 日 | 第 | 号 | ※受験番号 | | | | |
| ローマ字 ふりがな 氏名 (性別) | [㊦] (男・女) | | | | 生年月日 | 年 月 日 | | | |
| | | | | | 国籍 | 年齢 | 歳 | | |
| 志望専攻 | 看護学専攻 | | | | 理学療法学・作業療法学専攻 | | | | |
| 志望分野 | 看護学分野 | | | | 理学療法学分野・作業療法学分野 (いずれかを○で囲む) | | | | |
| 志望教育研究領域 | 学 | | | | 学 | | | | |
| 出願資格 | (1) | 年 | 月 | 大学 | 学部 | 学科 | 卒業 | | |
| | (2) | 年 | 月 | 大学院 | 研究科 | 課程 | 専攻 | 修了 修了見込 | |
| | (3) | 学士の学位 (取得) | | | 年 | 月 | (| 学) | |
| | 修士の学位 (取得・取得見込) | | | 年 | 月 | (| 学) | | |
| 関連医療資格等 | ○資格名 | | | | | ○取得年月日 | | | |
| | ○登録番号 | 第 | 号 | | | 年 | 月 | 日 | |
| | ○資格名 | | | | | ○取得年月日 | | | |
| | ○登録番号 | 第 | 号 | | | 年 | 月 | 日 | |
| | ○資格名 | | | | | ○取得年月日 | | | |
| | ○登録番号 | 第 | 号 | | | 年 | 月 | 日 | |
| | ○資格名 | | | | | ○取得年月日 | | | |
| | ○登録番号 | 第 | 号 | | | 年 | 月 | 日 | |
| 現住所 | 〒 | | | | | | | | |
| 連絡先 | 本人 ※自宅・携帯 両方を記入。 ない場合は 「なし」と 記入 | 自宅 | | | | 緊急連絡先 ※本人と 連絡が 付かない 場合の 連絡先。 (親・兄弟 等) | 氏名 | | |
| | | 携帯 | | | | | 本人との 関係 | | |
| | | メールアドレス (必須) | | | | 連絡先 | (自宅・勤務先・携帯) ※いずれかを○で囲む | | |
| 本学入学の 志望動機 | | | | | | | | | |

| 履 歴 書 | | |
|--|-------|--------|
| 学 歴 | 年 月 日 | 高等学校卒業 |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 職 歴 | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| 賞 罰 | 年 月 日 | |
| | 年 月 日 | |
| <p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">氏 名</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">⑩</p> | | |

【記入上の注意】

◎入学願書

- ① 記入事項は、楷書で記入するとともに、該当事項に○をつけてください。
- ② 年月日は和暦で記載してください。
- ③ ※印の欄は記入しないでください。
- ④ 志望教育研究領域の欄は、志望分野に応じて、志望する事項を適宜記入してください。
- ⑤ 関連医療資格等の欄は、医師、保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士のほか医療、福祉関係などの資格取得状況を適宜記入してください。
- ⑥ 志望動機の欄は、教育研究領域の志望理由や大学院における抱負などを記入してください。

◎履 歴 書

- ① 学歴は、高等学校卒業から記入してください。
- ② 職歴は、空白の期間が生じないように記入してください。
- ③ 行が足りない場合は、別紙に記載し、添付して提出してください。

様式 2

| 2025年度 札幌医科大学大学院保健医療学研究科 外国人留学生入学願書 APPLICATION FORM FOR GRADUATE PROGRAM(2025) GRADUATE SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY | | | |
|---|--|---|--------|
| 氏名 Name | 自国語 Name in mother tongue | 国籍 Nationality | |
| | カタカナ・ローマ字 In Katakana and Roman Letters | | |
| 生年月日 Date of birth | 年 月 日生 (歳) year month day age | 男・女 <input type="checkbox"/> MALE <input type="checkbox"/> FEMALE Check the appropriate column | |
| 希望専攻 Major Course | <input type="checkbox"/> 看護学専攻 Nursing (博士課程後期 (Doctorate)) <input type="checkbox"/> 理学療法学・作業療法学専攻 (博士課程後期 (Doctorate)) Physical Therapy/Occupational Therapy * 希望専攻の□にレを記入してください。 Check the appropriate column | | |
| 希望研究領域 Major Program | 第1希望 First Priority | 第2希望 Second Priority | |
| 住所1 (本国) Address in your country | 郵便番号 Zip code 住所 Address | | |
| | Tel | Fax | E-mail |
| 住所2 (日本) 〔日本在住者〕 Address in Japan if applicable | 郵便番号 Zip code 住所 Address | | |
| | Tel | Fax | E-mail |
| 日本国内の 連絡先 Mailing address in Japan | 郵便番号 Zip code 住所 Address | | |
| | Tel | Fax | E-mail |
| | 氏名 Name | 志願者との続柄 Relationship | |
| 入国年月日 Date of your entry into Japan | 年 月 日 year month day | 志願時の在留資格 Current Japanese Visa Status | |
| 日本語能力試験受験年月日・受験番号 Date of examination and examinee's number for JLPT (Japanese Language Proficiency Test) | | TOEFL受験年月日・受験番号 Date of examination and examinee's number for TOEFL test | |
| その他 Others | | | |
| (記入上の注意事項) Notes | | | |
| 1 ※印欄は、記入しないでください。※ For office use 2 数字は算用数字を用いてください。Use Arabic numerals 3 年齢は、2025年4月1日現在の満年齢を記入してください。(以下同じ) Fill in your age as of April 1st, 2025. 4 現住所(日本国内)欄は、受験結果を受領する日本国内の現住所及び電話番号を記入し、住所は必ず番地まで記入してください。 Please state a Japanese mailing address where you can receive mail regarding your application and a phone number at which you can be contacted. Be sure to fill out your address in detail including your street and house number. 5 入国年月日及び志願時の在留資格欄は、出願時に日本に在住している場合に記入してください。 If you have already been staying in Japan for some time, state your Visa Status in the application form. | | | |
| ※ 受付番号 Reference Number | | ※ 受験番号 Examinee's Number | |

履 歴 書 CURRICULUM VITAE

氏名
Name住所 1 (本国) 郵便番号 Zip code
Address in your country

Tel

Fax

E-mail

住所 2 (日本) 郵便番号 Zip code
Address in Japan

Tel

Fax

学 歴 EDUCATION

| 区 分 Classification | 学 校 名 School Name | 入 学 及 び 卒 業 年 月 Date of Admission and Graduation |
|--------------------------|----------------------|---|
| 大 学 等 Universities | | 入 学 年 月 Admission year month |
| | | 卒 業 年 月 Graduation year month |
| | | 入 学 年 月 Admission year month |
| | | 卒 業 年 月 Graduation year month |
| 大 学 院 Graduate School | | 入 学 年 月 Admission year month |
| | | 卒 業 年 月 Graduation year month |
| | | 入 学 年 月 Admission year month |
| | | 卒 業 年 月 Graduation year month |

職 歴 WORK EXPERIENCES

| 勤務先の名称 Employment | 所 在 地 Address | 勤 務 期 間 Duration | 勤 務 内 容 Job description |
|-------------------|---------------|------------------|-------------------------|
| | | | |

資格・免許 (名称及び取得時期) Qualifications & Licenses with the date received

賞罰 (名称及び時期) Awards with the date received

上記のとおり相違ありません。I hereby declare that the above is true and correct in every detail.

年 月 日 署名
year month day Signature

様式 3

志 望 理 由 書

氏 名 _____

様式4

研究計画書

氏名 _____

| | |
|--------|--|
| 研究課題 | |
| 研究計画概要 | |

※ 研究計画の概要を2,000字程度にまとめ、作成すること。

研究計画概要

主 要 論 文 要 旨

| | | | |
|------------------|--|------------------|-------|
| 氏 名 | | 論文著者氏名 (著者全員) | |
| 発表雑誌名 (巻・号・頁) | | 発表年月日 | 年 月 日 |
| 論文題目 | | | |
| 要 論 文 要 旨 | | | |
| | | | |

- ※ この用紙に必要事項を記入の上、主要論文に添付して提出すること。
- ※ 要旨は、1,500字程度で記入すること。
- ※ 2枚目からも外枠だけは必ず付けること。

論 文 目 録

| 番号 | 論 文 名 等 | 概 要 |
|----|---------------|-----|
| | 論文名 | |
| | 発表年月日 | |
| | 発表雑誌名 (巻・号・頁) | |
| | 著者名 | |
| | 論文名 | |
| | 発表年月日 | |
| | 発表雑誌名 (巻・号・頁) | |
| | 著者名 | |
| | 論文名 | |
| | 発表年月日 | |
| | 発表雑誌名 (巻・号・頁) | |
| | 著者名 | |
| | 論文名 | |
| | 発表年月日 | |
| | 発表雑誌名 (巻・号・頁) | |
| | 著者名 | |

- ※ この用紙に必要事項を記入の上、主要論文に添付して提出すること。
- ※ 概要は、200 字程度で記入すること。
- ※ 論文数が多い場合は、この用紙を適宜複写の上、番号欄に番号を記入して提出すること。

様式 7

実践経験の概要

氏名 _____

社 会 活 動 等

氏 名 _____

| | | |
|------------------|---|--|
| 各種委員会・ 団体等の活動 | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | |
| | 4 | |
| 学会等の活動 | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | |
| | 4 | |
| | 5 | |

- ※ 各種団体や委員会等（官公庁や民間団体など）で委員等として参画している場合は、団体名、役職名、活動内容及び期間を記入すること。
- ※ 加入している学会等の名称、役職、活動内容及び期間を記入すること。
- ※ 記入欄が足りない場合は、この用紙を適宜複写の上、提出すること。

様式 9

令和7年度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
(博士課程後期)
入学試験

| 受験票 | |
|--|---|
| 受験番号 | ※ |
| 氏名 | |
| 志望専攻 | 専攻 |
| 志望分野 | 分野 |
| 志望教育領域 | 学 |
| 【試験日程】 令和7年1月25日(土) 9:30~11:30 筆記試験 13:00~ 口頭試問 【試験場】 札幌医科大学保健医療学研究棟 札幌市中央区南1条西17丁目 電話 011-611-2111 内線23770 | 【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3か月以内 に撮影した正面、 上半身、脱帽の 写真を貼付し てください。 |

- ※印欄は記載しないでください。
- 志望教育研究領域等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。
- 試験当日は、この受験票を必ず持参ください。

令和7年度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
(博士課程後期)
入学試験

| 写真票 | |
|--------------|---|
| 受験番号 | ※ |
| 氏名 | (男・女) (年 月 日生 歳) |
| 志望専攻 | 専攻 |
| 志望分野 | 分野 |
| 志望教育領域 | 学 |
| ※【摘要】 | |

- ※印欄は記載しないでください。
- 志望教育研究領域等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。

受 験 上 の 注 意

- 1 試験当日午前 9 時 10 分までに受付を済ませてください。
なお、受付は 8 時 30 分から開始します。
- 2 各教科の試験開始 5 分前までに、試験室に入室してください。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めません。ただし、試験時間の延長は、できません。
- 4 試験室では、机上の受験番号と受験票の受験番号が同一であることを確認のうえ着席してください。
- 5 机上には、受験票・鉛筆・消しゴム・時計・英語辞書（和英、英和、英英）以外の所持品は置けません。
- 6 試験室に入室してから試験終了までの間、退出は認めません。試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、監督員の指示に従ってください。
- 7 **試験室に携帯電話を持ち込む際は、必ず電源を切ってください。**

様式 10

2025 年 度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
外国人留学生入学試験

| 受 験 票 | |
|--|--|
| 受験番号 | ※ |
| 氏名 Name | In mother tongue In Katakana or Roman Letters |
| 志望専攻 | 専攻 |
| 専攻分野 | 分野 |
| 志望教育 研究領域 | 学 |
| 【試験日程】 令和7年1月25日(土) 13:00～ 口頭試問 | 【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽の写真を貼付してください。 |
| 【試験場】 札幌医科大学保健医療学研究棟 札幌市中央区南1条西17丁目 電話 011-611-2111 内線23770 | |

- ・※印欄は記載しないでください。
- ・志望教育研究領域等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。
- ・試験当日は、この受験票を必ず持参ください。

2025 年 度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
外国人留学生入学試験

| 写 真 票 | |
|--|--|
| 受験番号 | ※ |
| 氏名 Name In mother tongue In Katakana or Roman Letters | 【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽の写真を貼付してください。 |
| (年 月 日生 歳) (男・女) | |
| 志望専攻 | 専攻 |
| 志望分野 | 分野 |
| 志望教育 研究領域 | 学 |
| ※【摘要】 | |

- ・※印欄は記載しないでください。
- ・志望教育研究領域等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。

受 験 上 の 注 意

- 1 試験当日午後 12 時 40 分までに受付を済ませてください。
なお、受付は 12 時 15 分から開始します。
- 2 口頭試験試験開始時間の 5 分前までに、口頭試験試験控室に入室してください。
- 3 口頭試験試験開始時刻に遅刻した場合は、口頭試験試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めません。
- 4 口頭試験試験控室に携帯電話を持ち込む際は、必ず電源を切ってください。

検定料の振込について

振込方法

1 検定料 30,000 円は、本学募集要項に添付されている振込用紙に必要な事項を記入の上、出願手続き前までに、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口でお振り込みください。

なお、ATM（現金自動預払機）で払い込んだ場合は、必ず窓口で日附印の押印を受けてください。

2 振込用紙の『ご依頼人』欄へ、黒のボールペンで3枚とも正確に記入してください。

※ 3 連票は、切り離さずに3枚組のまま郵便局等の窓口提出してください。

3 振込後『振替払込受付証明書』（受付郵便局等の日附印のないものは無効）を『検定料納付確認票』に貼付して、出願書類と一緒に提出してください。

なお、振込手数料は振込者の負担となります。

留意事項

1 出願書類を大学窓口提出する際、郵便普通為替証書あるいは現金を納付して手続きをすることはできませんので、ご注意ください。

2 検定料が振り込まれていない場合、『振替払込受付証明書』が貼付されていない場合、『振替払込受付証明書』に受付郵便局等の日附印がない場合は、出願書類の受理はできません。

3 インターネットバンキング、モバイルサービス等での振込はできませんので、ご了承ください。

札幌医科大学大学院保健医療学研究所
入学試験 検定料納付確認票

| | |
|----------------|--|
| ※受験番号 | |
| 氏名 | |
| 「振替払込受付証明書」貼付欄 | |

注) ※印欄は大学側で使用するので、記入しないでください。

就 学 承 認 書

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

氏 名

生年月日 年 月 日生

上記の者が、貴大学大学院保健医療学研究科に入学した場合は、在職したまま在学することを認めます。

年 月 日

所 在 地

事業所等名

代 表 者

印

様式 13

令和7年度 札幌医科大学大学院
保健医療学研究科（博士課程後期）
出願資格審査申請書

年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

(ふりがな)

出願者氏名

㊞

生年月日

年 月 日 男・女

貴大学大学院保健医療学研究科の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

| | | |
|---------------------|--------------|----------------------------------|
| 志 望 専 攻 | 看 護 学 専 攻 | 理学療法学 ・ 作業療法学専攻 |
| 志 望 分 野 | 看 護 学 分 野 | 理学療法学分野 ・ 作業療法学分野 (いずれかを○で囲む) |
| 志望教育研究領域 | 学 | 学 |
| 学 歴 (高等学校入学から記入) | 学校 | |
| | 年 月 日入学 | 年 月 日卒業 |
| | 学校 科 大学 科 | |
| | 年 月 日入学 | 年 月 日卒業 |
| | 学校 科 大学 科 | |
| | 年 月 日入学 | 年 月 日卒業 |
| 関 連 医 療 資 格 等 | ○資格名 | ○取得年月日 |
| | ○登録番号 第 号 | 年 月 日 |
| | ○資格名 | ○取得年月日 |
| | ○登録番号 第 号 | 年 月 日 |
| 職 歴 | 期 間 | 最終学校卒業後の勤務先 |
| | 年 月～ 年 月 | |
| | 年 月～ 年 月 | |
| | 年 月～ 年 月 | |
| | 年 月～ 年 月 | |
| | 年 月～ 年 月 | |
| 現 住 所 | 〒 | (電 話 — —) (携 帯 電 話 — —) |
| | 〒 | (電 話 — —) (携 帯 電 話 — —) |
| 審 査 結 果 通 知 先 | 〒 | (電 話 — —) (携 帯 電 話 — —) |

【記入上の注意】

- ① 記入事項は、楷書で記入するとともに、該当事項に○をつけてください。
- ② 年月日は和暦で記載してください。
- ③ 志望教育研究領域の欄は、志望分野に応じて、志望する事項を適宜記入してください。
- ④ 関連医療資格等の欄は、医師、保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士のほか医療、福祉関係などの資格取得状況を適宜記入してください。
- ⑤ 行が足りない場合は、別紙に記載し、添付して提出してください。

出願チェックシート（博士課程後期）

該当箇所に○を付けて出願書類とともに提出してください。

氏名 _____

| | | |
|-------|---------------|---------------------------|
| 受験区分 | 一 般 | |
| 出身大学院 | 札幌医大 ・ 札幌医大以外 | →「札幌医大」に該当する方は提出書類の2、3は不要 |
| 職 業 | 有 ・ 無 | →「無」に該当する方は提出書類の8は不要 |

| 確 認 事 項 | チェック | 留 意 事 項 |
|----------------------|------|----------------------------|
| 志望する教育研究領域の教員と連絡をとった | | 希望する研究内容・研究計画を事前に照会・確認すること |

| 提 出 書 類 | チェック | 留 意 事 項 |
|----------------|------|--------------------------------|
| 1 入学願書（様式1） | | 2箇所に押印、氏名はローマ字でも記入 |
| 2 修了（見込）証明書 | | 札幌医科大学修了（見込）の者は不要 |
| 3 成績証明書 | | 札幌医科大学修了（見込）の者は不要 |
| 4 学習・研究志望書 | | 必要に応じて提出 |
| ①志望理由書（様式3） | | |
| ②研究計画書（様式4） | | |
| ③主要論文要旨（様式5） | | 主要論文に添付して提出 |
| ④論文目録（様式6） | | 主要論文に添付して提出 主要論文以外の論文の提出は不要 |
| ⑤実践経験の概要（様式7） | | |
| ⑥社会活動等（様式8） | | |
| 5 受験票・写真票（様式9） | | 写真を2枚貼付 |
| 6 返信用封筒 | | 定形封筒（長形3号）に320円切手を貼付 |
| 7 入学検定料（様式11） | | 日附印の押印が必要 |
| 8 就学承認書（様式12） | | 受験区分に関係なく在職のまま就学する場合に必要 |

